



独立行政法人 理化学研究所

原子核グループ

第2回 RIBF 核物理セミナー

RIKEN Nuclear Physics Group

The 2nd RIBF Nuclear Physics Seminar

(p,2p) 反応で調べる核の媒質効果

野呂哲夫 氏

九州大学理学部

概要

(p,2p) 反応は、原子核内の相互作用を調べるに適した核反応である。中間エネルギーで(p,2p) 反応スピン観測量を通じた、媒質効果追求の現状について報告する。また、不安定核ビームでのこの反応を用いた研究の可能性についても言及したい。

炭素同位体からの(p,2p) 反応

小林俊雄 氏

東北大学理学部

概要

放医研加速器施設で行った 250MeV/A の ^{9-16}C ビームを用いた(p,2p) 反応測定の結果について報告する。

The seminar will be given in Japanese

Nov. 2 (Wed.), 2005 10:00-
Nishina Hall, Wako

Contact:

Nori Aoi

seminar@rarf.riken.jp